

## 環境社会貢献

積極的に環境社会貢献活動を推進し、  
国際社会・地域社会との共存共栄をめざします。

### 基本的な考え方

富士通グループでは、社員一人ひとりが地球環境の大切さを認識し、美しい地球環境を次世代へと受け継いでいくために、「地域貢献活動」「自然環境保全活動」「環境教育活動」を3つの柱とする環境社会貢献活動を通して、地域社会に貢献しています。

### 地域貢献活動

富士通グループでは、地域の皆様に快適な環境を提供することを目的に、全国の支社、支店、工場などで清掃活動や緑化活動などの地域貢献活動を実施しています。

#### 海岸清掃の実施((株)富士通エフサス神戸支社)

須磨海岸は、四季を通じて憩いをもたらしてくれる神戸のシンボルであるとともに、阪神間唯一の海水浴場でもあります。

この貴重な海水浴場を守るために、(株)富士通エフサス神戸支社では、2006年6月から毎年海水浴シーズンの前後(6月、9月)に海岸の清掃活動を行っています。2009年度もこの活動を実施し、のべ46名の社員が参加しました。

### 自然環境保全活動

富士通グループでは、豊かな自然を守り、失われた自然環境を再生することを目的に、熱帯雨林再生活動や森林保全活動を行っています。

#### 富士通グループ「企業の森」活動事例

富士通グループは、全国各地で自治体が推進する「企業の森」事業に賛同しており、2010年4月現在、全国に9カ所ある富士通グループの森において、森林保全活動を実施しています。2009年3月には、佐賀に事業所を持つ富士通グループ各社と佐賀県吉野ヶ里町が協定を結び、「富士通グループ吉野ヶ里千本桜の森」が誕生しました。2009年5月には、第1回の活動として社員とその家族66名が下草刈りや遊歩道整備を行いました。

また、(株)富士通岡山システムエンジニアリング(FOE)は、2009年7月、岡山県が推進する企業との協働の森事業に参画し、借り受けた岡山県備前市の森林を「富士通岡山システムエンジニアリング 備前 八塔寺の森」と名づけました。2009年11月には、社員とその家族47名が草刈りや木の伐採などを実施しました。

長野県北信地区の富士通グループ各社では、2006年

から、長野市役所の協力のもと、社員たちが不特定の森林で間伐や下草刈りなどを実施してきました。この実績が評価され、2008年10月に長野市認定第1号の「企業の森」として上信越国立公園(飯綱高原)内の森林(2ha)が提供されました。この「北信地区富士通グループの森」では、2009年から、位置情報が記録できる「GPSロガー」を使用して森の全容を地図で表すとともに、観測点30カ所を定め、活動前後の姿を写真で確認するという取り組みを始めています。



FOEの森

#### マレーシア・ボルネオ島における熱帯雨林の再生

富士通グループでは、2002年からサバ州にある「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」で、サバ州森林開発公社の支援を受けながら、熱帯雨林の再生に取り組んでいます。これまでに、社員のべ536名が、150haの土地に、在来種であるフタバガキ種37,500本を植えてきました。

2009年度は、これまで植林してきた場所の生育状況調査と補植および野生鳥獣の生息調査を行いました。また、2009年7月から富士通ブランド飲料を社内で販売し、売り上げの一部をこの熱帯雨林再生活動に寄付しています。このほかにも、2009年10月に開催されたゴルフ大会「富士通レディース」で「バーディーforグリーン」を実施しました。この取り組みは、選手の成績に応じた苗木本数分の費用をエコ・フォレストパークでの植林・育成活動に寄付するというもので、2009年度は1,000本の植林を実施しました。



生育状況調査



ラインセンサス法による生息調査

### 環境教育活動

富士通グループは、地域の皆様や子どもたちに環境の大切さを知ってもらうため、環境出前授業を行っています。

2009年度は、55カ所の小・中学校や公民館など、さまざまな場所で、約3,000名を対象に環境出前授業を開催し、パソコンを分解しながら3Rについて学ぶ「パソコンの3R」、カードゲームを使って地球環境問題を学ぶ「マイアース」を実施しました。また、さらなる出前授業の要請に応えられるよう、2009年度に新たに18名の講師を養成しました。2010年4月現在、45名の講師が全国各地で出前授業を行っています。